

市民公開シンポジウム



小学校からのプログラミング教育について考える

現在、「プログラミング教育」というキーワードが社会的に注目されています。文部科学省が小学校において「プログラミング教育」の必修化を推進していますが、企業のニーズに合わせたプログラマーの育成に留まってしまわないかと危惧する声もあります。実際には教育面で期待される点は多く、先進諸国や国内の小学校でも「プログラミングを通じた論理的思考力や構造的把握力の育成」を目的とした取り組みが行われています。そこで、多方面の方々とともに小学校で行われるプログラミング教育の望ましい姿を考えるため、ここにシンポジウムを開催いたします。市民のみなさまのご参加をお待ちしています。

開催: 10月23日(日) 13:00~17:00 (開場12:30~)

場所: えんてつホール 遠鉄百貨店新館8階

(公共交通機関を利用してお越しください)

参加費無料
事前登録不要

基調講演

堀田 龍也 東北大学大学院 情報科学研究科 教授/文部科学省「小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議」・主査

小学校段階で期待されるプログラミング教育の方向性

一般講演

太田 剛 静岡大学 情報学部 情報科学科 教授

プログラミングを通して何を学んでいるのか — 情報系大学生の場合 —

実践報告1

富永 浩司 静岡大学 教育学部 附属浜松小学校 教諭

小学校教員が考えるプログラミング教育

実践報告2

阿部 和広 青山学院大学 客員教授

作ることで学ぶ — 構築主義によるプログラミング学習の目的とその可能性 —

実践報告3

松澤 芳昭 青山学院大学 社会情報学部 助教

リテラシーとしてのプログラミング教育

— 日本のプログラミング教育のルーツ再訪を通して —

パネリスト

田村 学 文部科学省 初等中等教育局 視学官

堀田 龍也、太田 剛、富永 浩司、阿部 和広、松澤 芳昭

主催: 静岡大学 情報学部
協賛: 静岡大学 工学振興基金
協力: 浜松ITキッズプロジェクト推進会議
後援: 浜松市、浜松市教育委員会、静岡県教育委員会

問い合わせ先
静岡大学 情報学部 地域連携推進室
TEL / FAX: 053-478-1579
E-mail: prog-symp@ml.inf.shizuoka.ac.jp

